

# 平成26年度検討業務の 結果について

～現況地盤活用案による上流部への影響～

平成27年11月16日

江川流域づくり支援会議(第二期)

## 現況地盤活用案による上流域の影響

目的：現況地盤活用案(H22)は下流部1.31kmまで。  
上流への影響を確認していない。

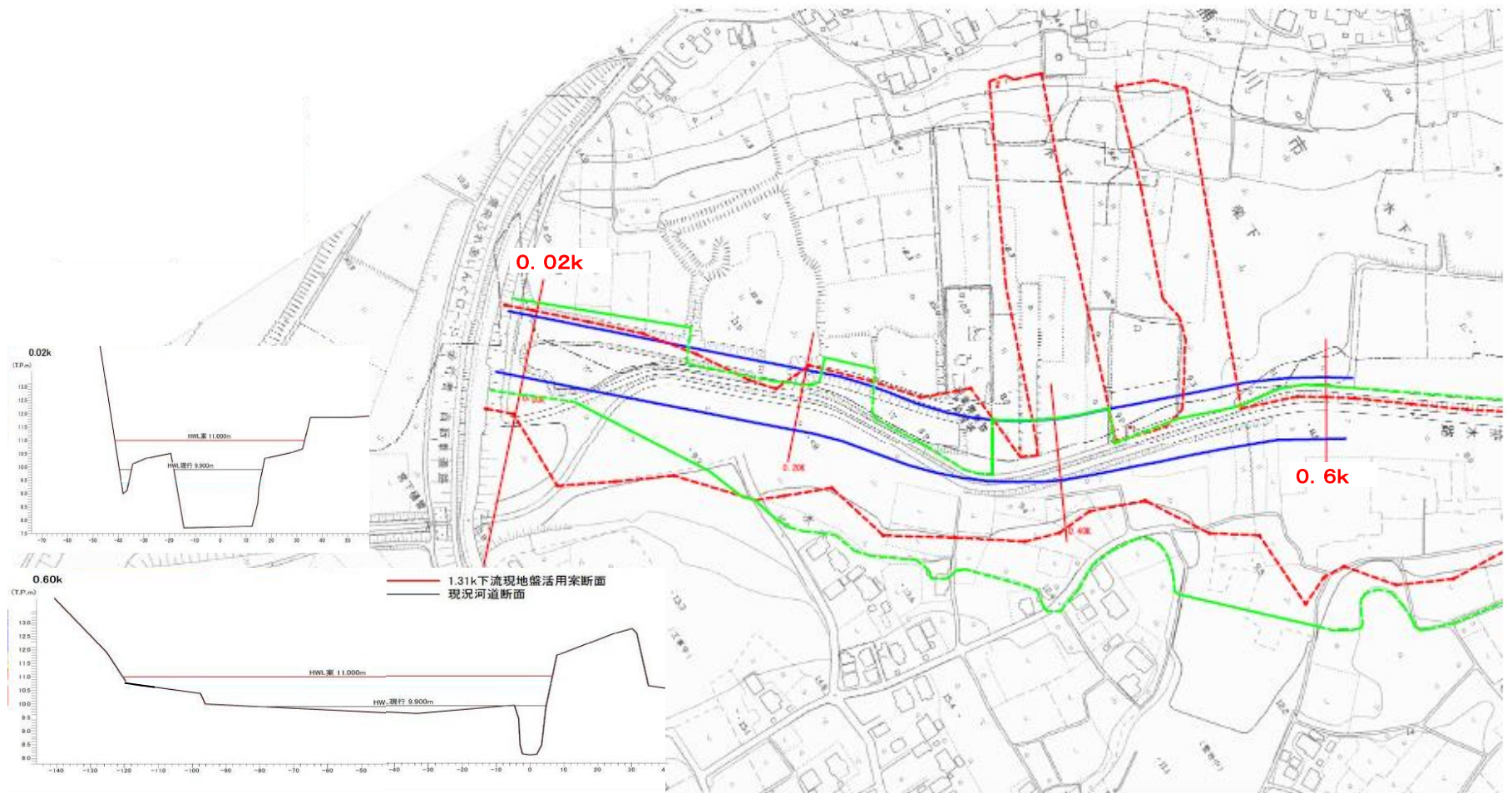


現況地盤活用案で整備した場合の、  
上流部における影響について確認した。

- 検討方針：
- ① 詳細な測量結果を用い、  
不等流計算モデルによる水位計算
  - ② 宮下樋管は改修を前提

# 江川平面図1

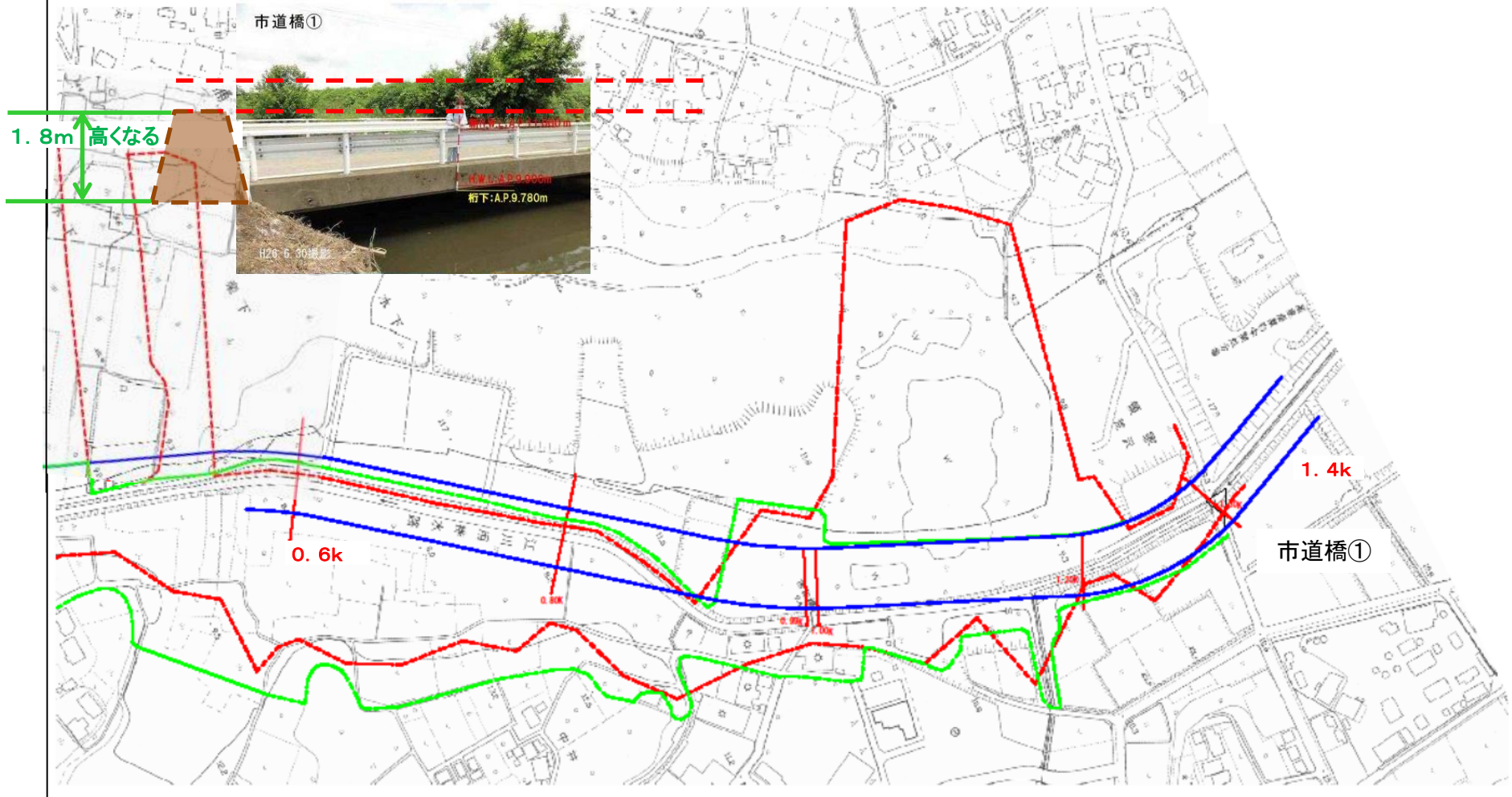
(0.0km~0.6km付近)



橋梁への影響

江川平面図2

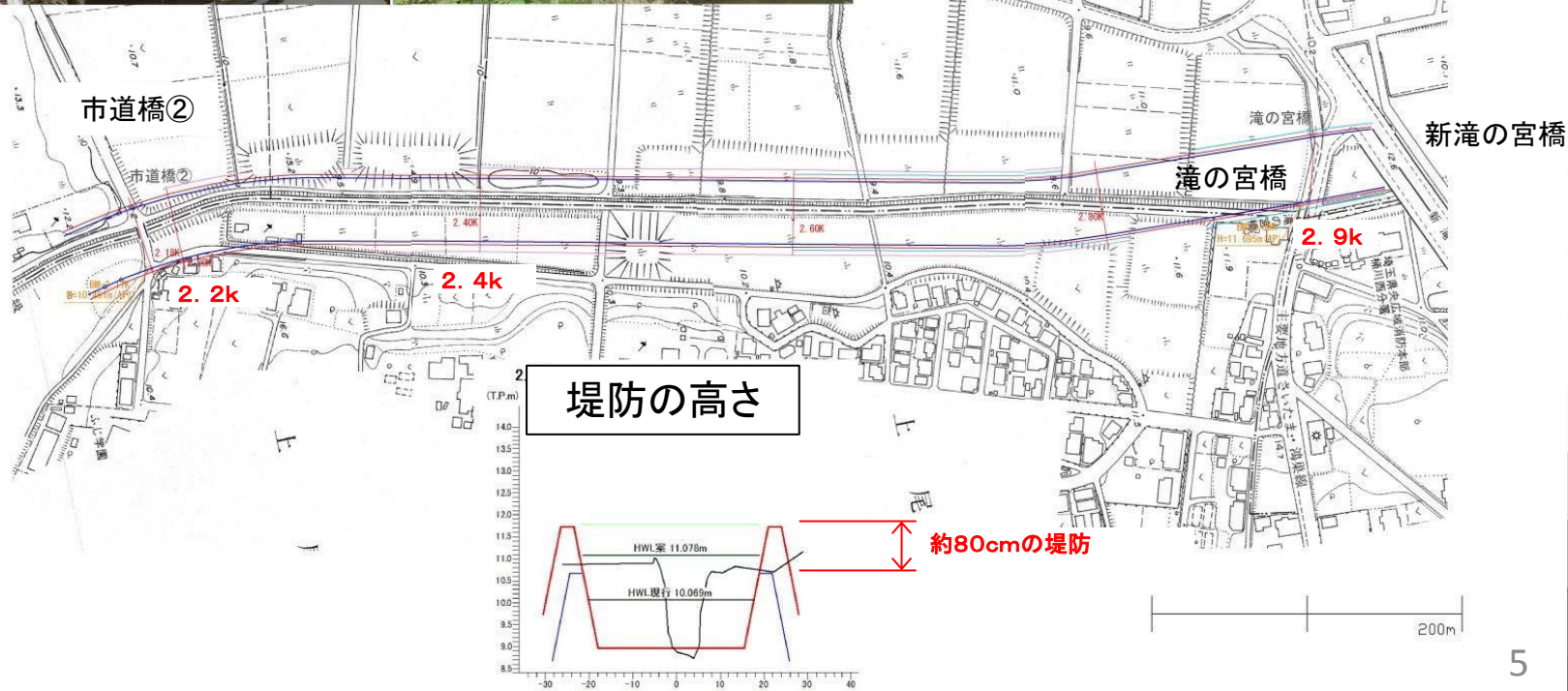
(0.6km~1.4km付近)





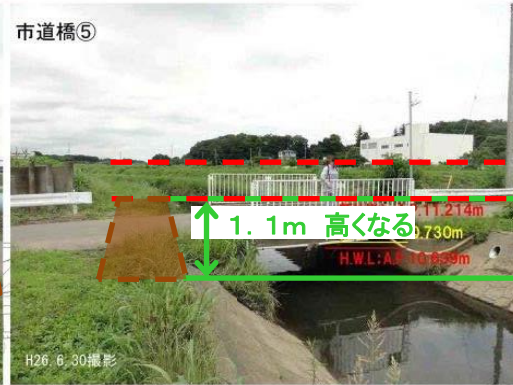
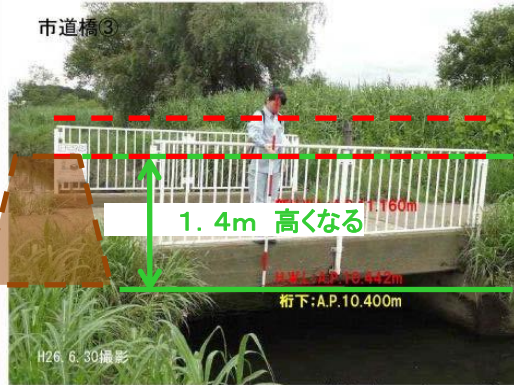
### 江川平面図4

(2.2km~2.9km付近)



# 江川平面図5

(2.9km~3.7km付近)



## 今後の河川整備について

下流区間は環境への影響もほとんど懸念  
されない**現況地盤活用案**を採用すべき

～江川流域づくり支援会議の提言(H22.1)～



上流域では、堤防が高くなる

～平成26年度検討業務の結果～



**現況地盤活用案**を基本とし、  
**治水と環境の両立**する河川計画が必要